



報道機関各位



平成28年11月29日
室蘭開発建設部
東日本高速道路(株)北海道支社

平成29年秋頃を目標に 国道274号日勝峠の通行止め解除

平成28年8月30日からの台風第10号の影響により、通行止めとしている国道274号日勝峠（日高町千栄～清水町清水、L=39.5km）については、車両進入が困難な箇所を徒歩の他、自転車・ヘリコプターによる移動、落橋箇所でのゴムボートによる渡河等の様々な工夫により、被災状況の調査を実施してきました。

この結果、落橋等による橋梁損傷が10箇所、雪崩・地吹雪対策用の覆道の損傷が3箇所、道路本体が大きく欠損した箇所が6箇所等、合計で66箇所の被災が確認されました。

今般、詳細調査、復旧工法の検討が進捗したこと及び全線に渡る工事用車両等の進入路の確保が完了したことにより、概略の工程計画の立案が可能となったことから、国道274号日勝峠の通行止め解除の目標についてお知らせします。

なお、通行止めとなっている国道274号の代替路として実施中の道東自動車道占冠IC～十勝清水IC間の無料措置は、継続します。

記

【国道274号日勝峠の通行止め解除の目標について】

- ・ 通行止め 国道274号日勝峠（日高町千栄～清水町清水：L=39.5km）
- ・ 通行止め解除の目標 平成29年秋頃
 - ※ 台風による天候不順等の影響で、時期が変わる可能性があります。
 - ※ 仮橋の通行、片側交互通行の区間が生じる見込みです。
 - ※ 防雪施設等の復旧工事の進捗状況によっては、解除後に冬期通行止めを行う場合があります。

【国道に関する問合せ先】

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部
道路計画課長 すずき 鈴木 たけひこ 武彦 電話0143-25-7046（内線351）

【通行料金や道東自動車道に関する問合せ先】

【お客様窓口】	NEXCO東日本お客様センター	電話0570-024-024 電話03-5338-7524 (PHS・IP電話のお客様)
【報道関係】	NEXCO東日本北海道支社広報課	電話 011-896-5238

通行止め区間の復旧作業状況

- 被災により39.5kmが通行止めとなっており、平成29年秋頃の解除を目標に復旧作業を行っているところ。
- 被災箇所数は、橋梁損傷10箇所、覆道損傷3箇所、道路本体が大きく欠損6箇所、その他47箇所の合計66箇所。
- 延べ作業人数 4,739人・日 (H28.8.31からH28.10.31までの62日間)。



※室蘭側及び帯広側とも、②⑨三国の沢覆道まで工事車両の通行が可能

< ① 千呂露橋落橋 >



仮橋架設完了

< ⑦ 岩瀬橋落橋 >



工事用道路施工

< ⑩ 清瀬覆道損傷 >



応急復旧作業

< ②⑨ 三国の沢覆道損傷 >



覆道下部工撤去作業

< ③⑧ 帯広側8号目付近盛土崩壊 >



工事用道路施工

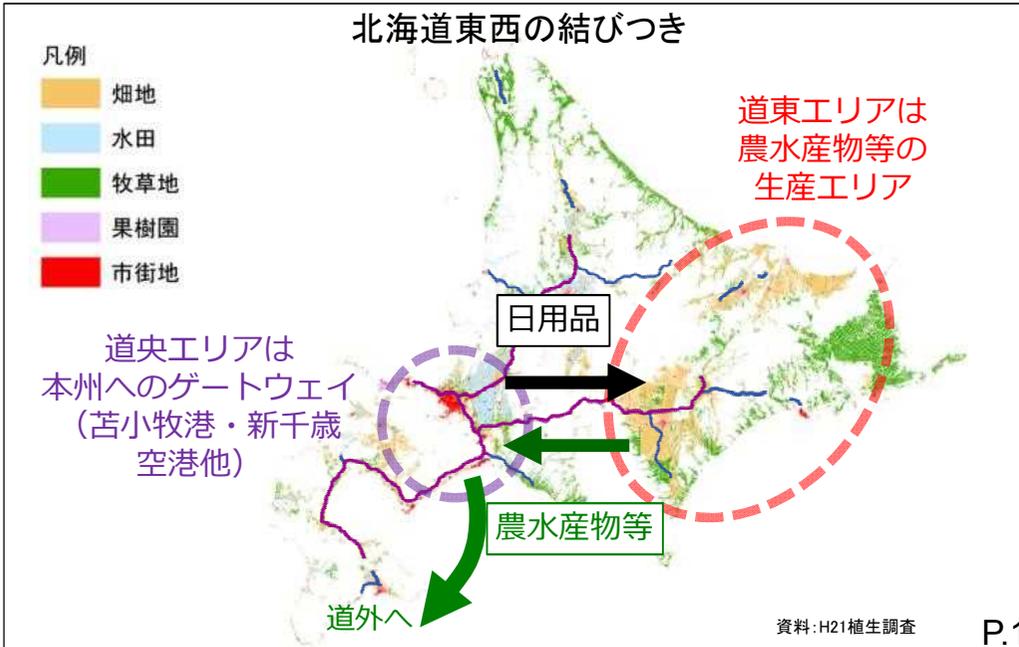
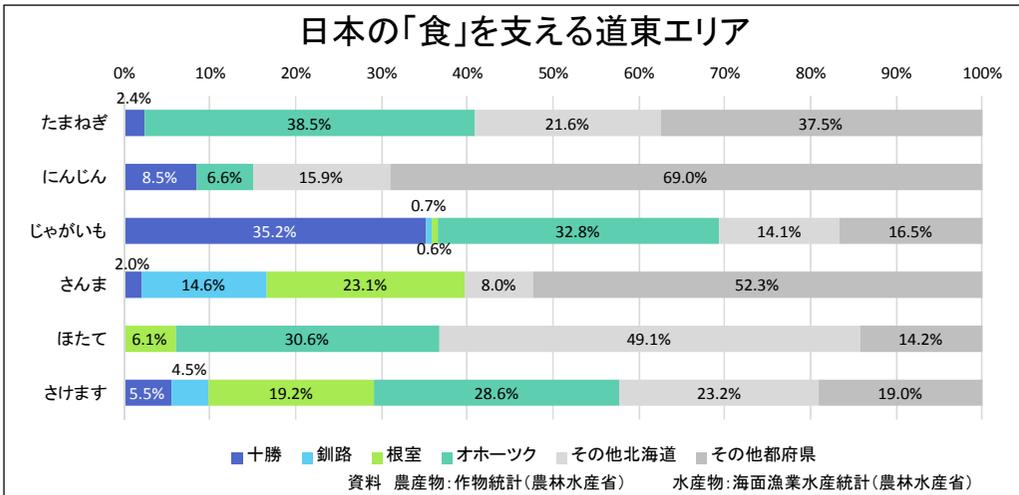
< ⑥① 切土崩壊 >



応急復旧作業

国道274号日勝峠の復旧による効果

- 道東エリアは、じゃがいもの全国シェアが7割、さけますの全国シェアが6割など、農水産物等の生産エリアとして日本の「食」を支えているところ。
- 国道274号日勝峠の通行止め解除により、道央圏と道東圏を結ぶ幹線ネットワークとして道東自動車道とともに機能し、農産物の物流や沿線地域の観光振興等、人流・物流を担う幹線道路の代替性を確保。



- 被災概要を把握するため、被災翌日の9月1日にはヘリコプターによる空撮や目視調査を実施。
- 現地踏査では車両進入困難な箇所を徒歩の他、自転車による移動、落橋箇所でのゴムボートによる渡河やヘリコプターによる移動等様々な工夫をしながら、早期に被災状況を把握。
- 被災地は山間地で、熊の足跡だけでなく、熊自体の目撃もあったことから、ハンター同伴で調査を実施。

＜熊の足跡＞



＜徒歩による調査＞



＜落橋箇所のゴムボートによる渡河＞



＜自転車による移動＞



＜ヘリコプターによる移動＞



- ドローンによる空中写真撮影を行うことで、被災箇所(個別)の状況を迅速に把握。
- 実機により撮影したビデオ映像から、Mofix(ビデオ画像処理技術)を用いた連続モザイク写真を作成し、短時間で被害の全貌を把握。
- レーザープロファイラ測量による現地測量作業の効率化、SfMシステムを用いた3Dデータモデル作成による被災状況(規模)を迅速に把握。

➡ 従来の手法である実測(現地測量)では、約200日かかる作業を、ICTの有効活用により約30日に短縮。

■ドローンによる空中写真撮影

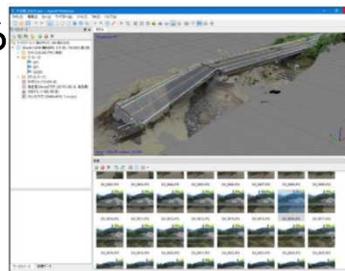


■Mofix(ビデオ画像処理技術)を用いた連続モザイク写真の作成



■SfM (Structure from Motion)システムによる3Dデータモデルの作成

➡ 被災規模(崩壊土量・被災延長等)を自動計算



■レーザープロファイラ測量による現地測量作業の効率化



撮影機体



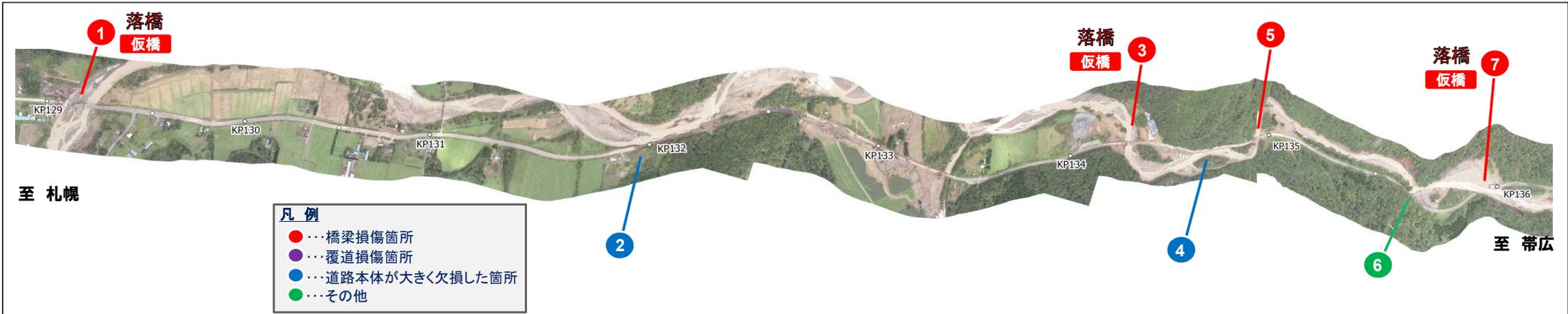
機体胴体下の開口部



機体内部のシステム

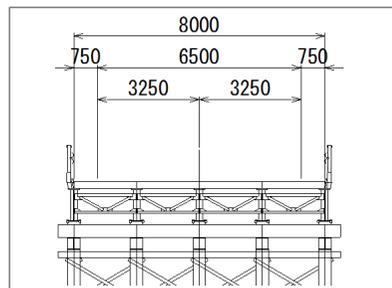


➤ 国道274号の室蘭側日勝峠の落橋した3橋（千呂露橋、大鷲橋、岩瀬橋）については、対面通行可能な仮橋を設置予定。



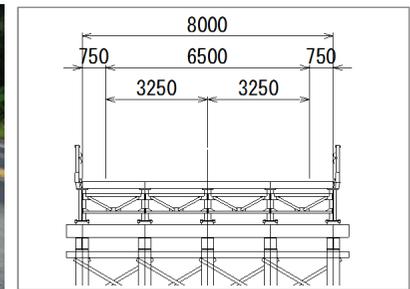
< ① 千呂露橋落橋 >

仮橋



< ⑦ 岩瀬橋落橋 >

仮橋

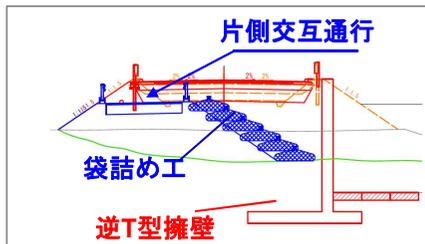


➤ 道路本体が大きく欠損した箇所（千栄地区大規模欠損）、覆道の損傷箇所（清瀬覆道）では、片側交互通行により開通を行う予定。



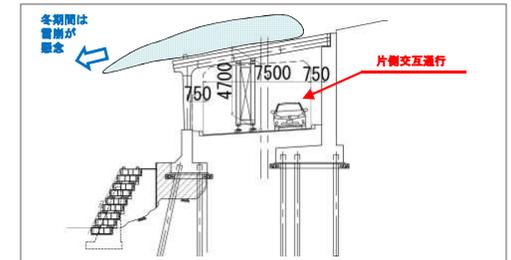
< 8 千栄地区大規模欠損 >

片側交互通行

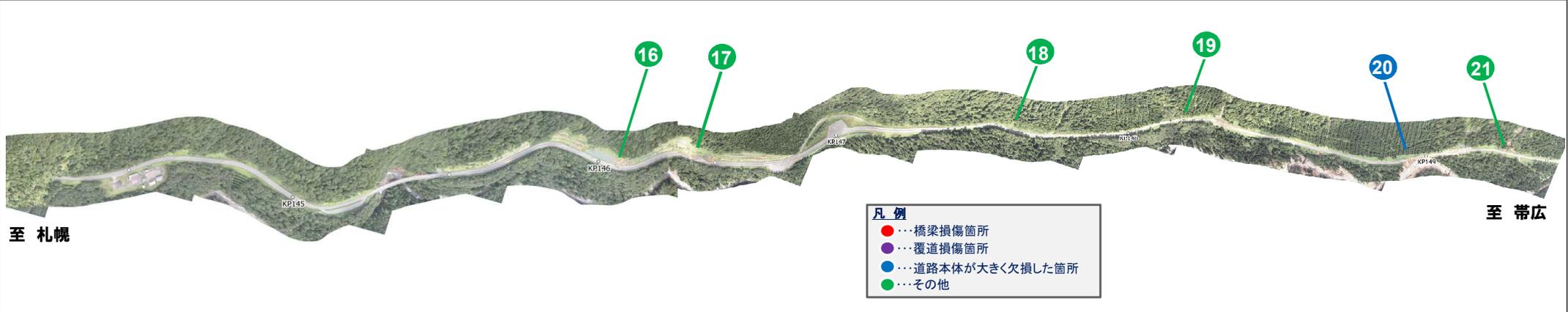


< 10 清瀬覆道損傷 >

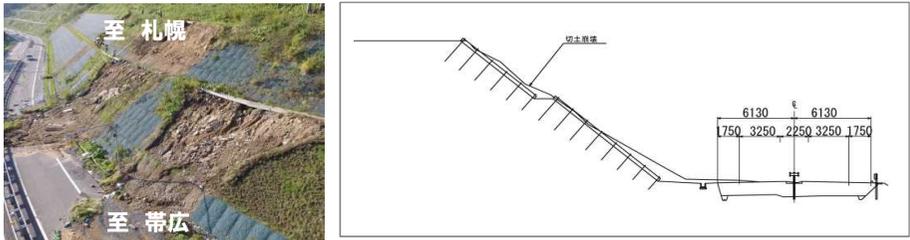
片側交互通行



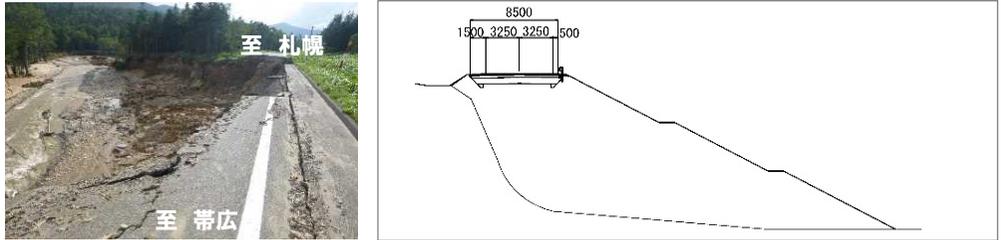
➤ 切土法面崩壊、盛土崩壊および道路本体が大きく欠損した箇所(室蘭側日勝峠7合目)では、2車線を確保し、対面通行による開通を行う予定。



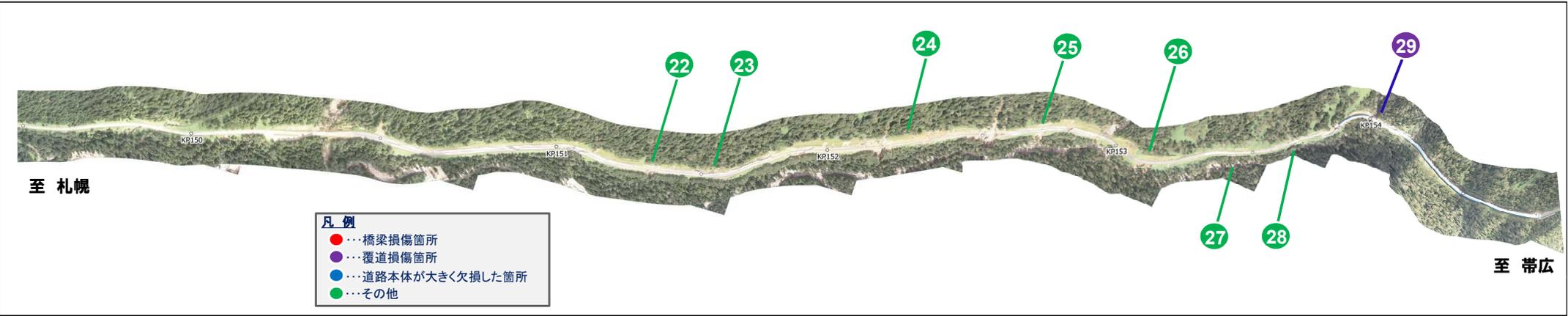
< 16 室蘭側日勝峠7合目切土崩壊 > **対面通行**



< 20 室蘭側日勝峠7合目大規模崩落 > **対面通行**

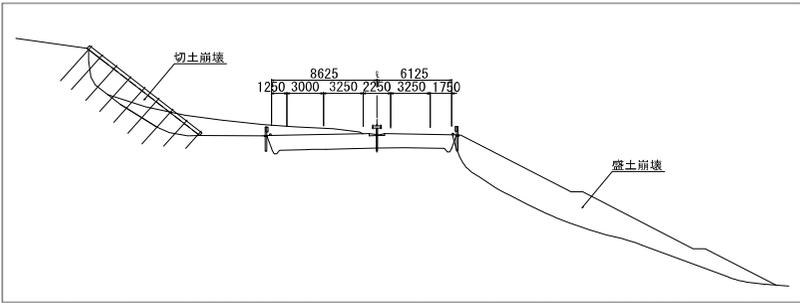


➤ 切土崩壊、盛土崩壊、土砂流出箇所および覆道の損傷箇所(三国の沢覆道)では、2車線を確保し、対面通行による開通を行う予定。



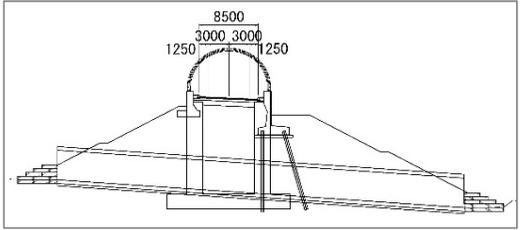
< 24 室蘭側日勝峠7合目 切土崩壊、盛土崩壊、土砂流出 >

対面通行

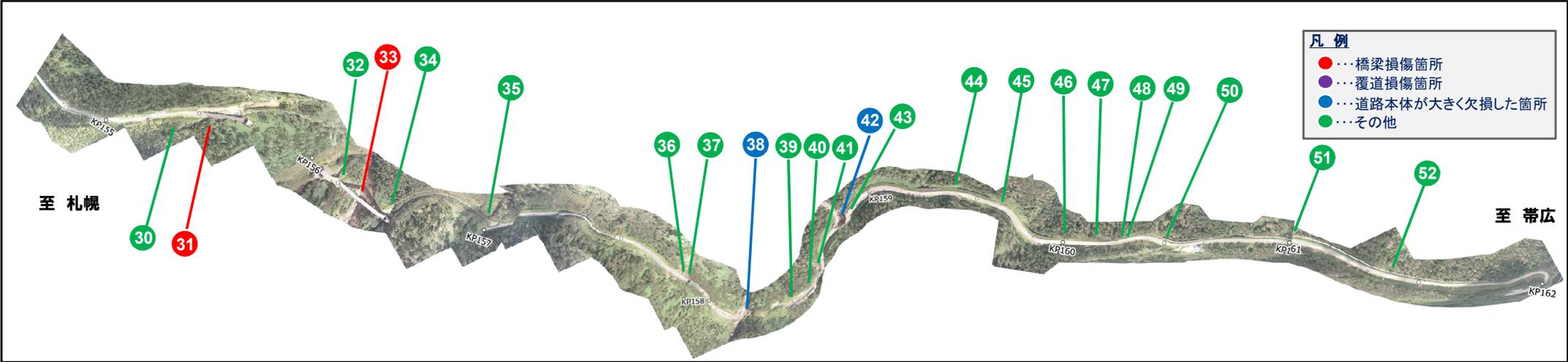


< 29 三国の沢覆道損傷 >

対面通行

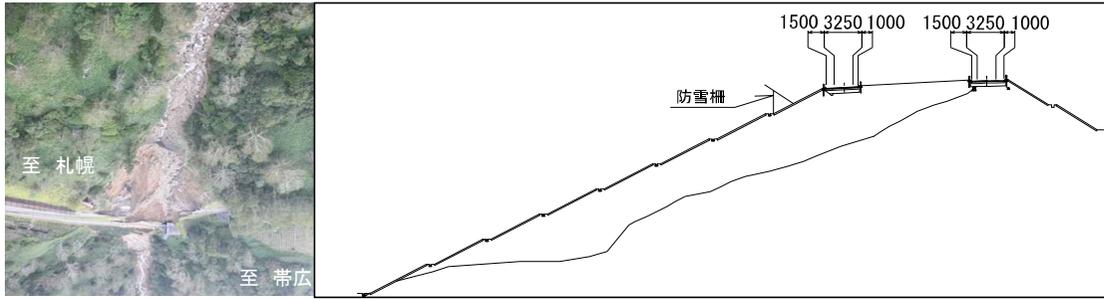


➤ 帯広側日勝峠7合目と8合目の道路本体が大きく欠損した箇所では、2車線を確保し、対面通行による開通を行う予定。



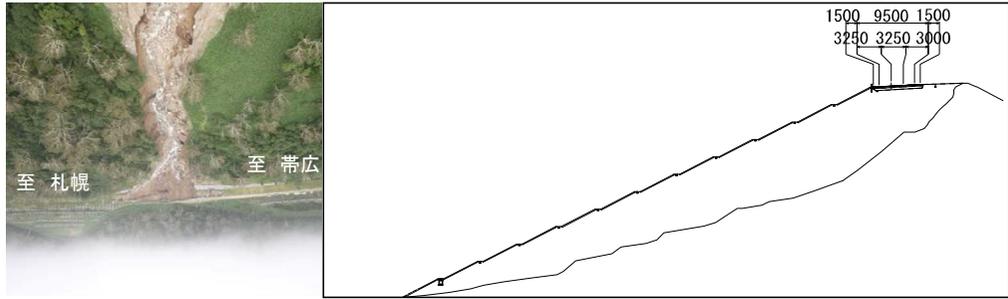
< 38 帯広側日勝峠8合目盛土崩壊 >

対面通行

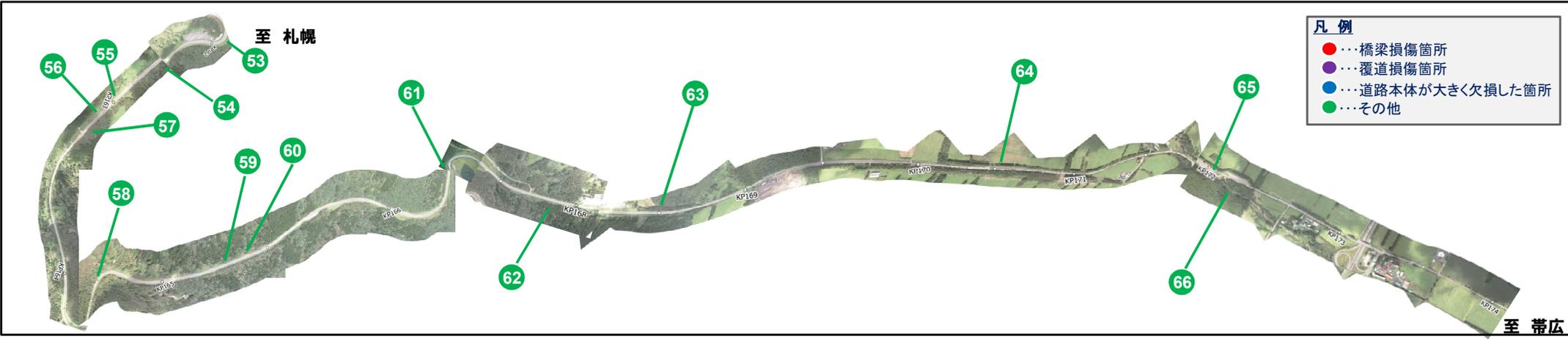


< 42 帯広側日勝峠7合目盛土崩壊 >

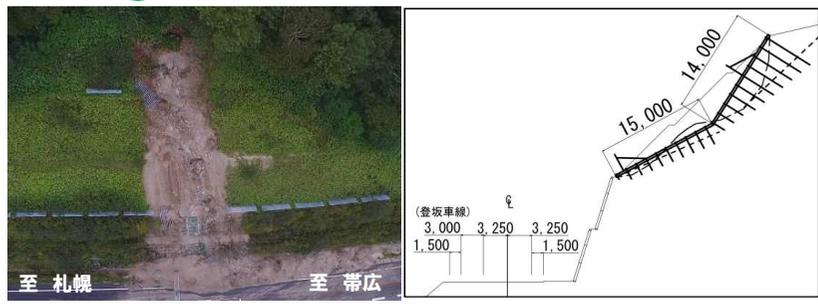
対面通行



➤ 帯広側の切土法面崩壊箇所と盛土崩壊箇所では、2車線を確保し、対面通行による開通を行う予定。



< 61 帯広側日勝峠1合目切土法面崩壊 > **対面通行**



< 64 清水地区盛土崩壊 > **対面通行**

